



自然災害・社会災害について
文理融合の学際研究に
取り組む「社会安全学」の
視点から、「実践的危機
管理」を探求します。
皆様のご参加を心より
お待ちしております。



これからの企業・行政の 危機管理と社会安全学

関西大学 社会安全学部・大学院 社会安全研究科 第3回 東京シンポジウム

2012年10月16日 | TUE |

13:00 ▶ 18:00 開場 12:30

学術総合センター 一橋講堂
中会議場1~3

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2丁目1-2 TEL.03-4212-6321
(東京メトロ半蔵門線、または都営地下鉄三田線・新宿線 神保町駅より徒歩約3分)

申込方法 関西大学社会安全学部ホームページからお申し込みください。

http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_ss/



定員 500名 シンポジウム参加費 無料

上のQRコードから
申込画面へアクセス!

総司会 中村 隆宏 / 関西大学社会安全学部・教授

13:00-13:05 開会挨拶 竹内 洋 / 関西大学東京センター所長

第一部 問題提起 13:05-13:35 / 一橋講堂

テーマ 「社会問題としての首都直下地震」

河田 恵昭 / 関西大学社会安全学部長・教授、社会安全研究センター長

第二部 分科会 13:45-15:30 / 一橋講堂・中会議場1~3

第一会場

テーマ 「巨大自然災害と社会安全学の挑戦」

小澤 守 / 関西大学社会安全学部副学部長・教授
畑村 洋太郎 / 東京大学名誉教授、畑村創造工学研究所
山崎 登 / NHK解説主幹、関西大学客員教授

第二会場

テーマ 「企業・行政の不祥事と社会安全学」

安部 誠治 / 関西大学社会安全学部・教授
郷原 信郎 / 弁護士、関西大学社会安全学部特別任用教授
柳田 邦男 / ノンフィクション作家、関西大学客員教授

第三部 パネルディスカッション 16:00-18:00 / 一橋講堂

テーマ 「社会安全学と安全安心な社会の創造～巨大自然災害・組織事故にどう立ち向かうか～」

パネルチェア: 山崎 淑行 / NHK記者
パネリスト: 畑村 洋太郎・柳田 邦男・山崎 登・河田 恵昭・小澤 守・安部 誠治

18:00-18:05 閉会挨拶 小澤 守 / 関西大学社会安全学部副学部長・教授

講演者 プロフィール

第3回 関西大学東京シンポジウム
これからの企業・行政の
危機管理と社会安全学

郷原 信郎【ごうはら・のぶお】



関西大学特別任用教授、弁護士。1955年、鳥根県生まれ。1977年、東京大学卒業。1983年に検事任官後、東京地検検事、広島地検特別刑事部長、長崎地検次席検事などを歴任。2005年、桐蔭横浜大学法科大学院教授、コンプライアンス研究センター長。2008年、郷原総合法律事務所開設。2009年、名城大学教授・コンプライアンス研究センター長。同年、総務省顧問・コンプライアンス室長。2012年に関西大学特別任用教授に就任。近著に「第三者委員会は企業を変えられるか」「組織の思考が止まるとき～「法令遵守」から「ルールの創造」へ～」がある。

畑村 洋太郎【はたむら・ようたろう】



東京大学大学院修了。同大学教授を経て、現在は工学院大学教授、東京大学名誉教授。2001年より「畑村創造工学研究所」を主宰、2002年NPO法人「失敗学会」を設立。2011年～2012年まで福島原発における事故調査・検証委員会委員長。専門はナノ・マイクロ工学、創造的設計論、失敗学・危険学、医学支援工学。著書に「技術の創造と設計」「失敗学のすすめ」「続々・実際の設計―失敗に学ぶ―」「直観でわかる数学」「DVD+BOOKだから失敗は起こる」「みる わかる 伝える」「回復力」「危険不可視社会」「未曾有と想定外」「勝つための経営(共著)」ほか多数。

柳田 邦男【やなぎだ・くにお】



ノンフィクション作家、評論家。1936年、栃木県鹿沼市で誕生。1960年、東京大学経済学部卒業。NHK記者を14年務めた後、作家活動に入る。現代人の「命の危機」をテーマに、戦争、災害、事故、公害、事件、病気と医療に関するドキュメンタリーな作品や評論を書き続けている。最近は、福島原発事故問題、終末期医療、脳死問題などについて積極的に発言するとともに、ネット社会と子どもの心の発達の問題や、大人の心の危機についても熱い語りかけをしている。関西大学社会安全研究科客員教授。

山崎 登【やまざき・のぼる】



NHK解説主幹。主な担当は自然災害と防災。関西大学社会安全学部客員教授。政府の中央防災会議「津波避難対策検討ワーキンググループ」委員。気象庁「降灰予報の高度化に向けた検討会」委員。日本災害情報学会理事、企画委員長。著書に「地域防災力を高める～やったといえるシンポジウムを～」(近代消防社)「災害情報が命を救う～現場で考えた防災～」(近代消防社)「災害情報入門」(共著・弘文堂)「気象・災害ハンドブック」(共著・NHK出版)「火山に強くなる本」(共著・山と溪谷社)など。

山崎 淑行【やまざき・よしゆき】



NHK記者。大阪府立寝屋川高等学校卒業。関西学院大学経済学部入学。大学卒業後、就職はせず3年間フリーターとして様々なアルバイトを経験。その後、神戸大学国際協力研究科修士課程に入学。途中1年間休学しアメリカ・シアトルでビジネスインターンを経て平成9年にNHKに記者として入社。初任地の福井放送局では、敦賀報道室勤務のほか、福井県政や遊軍を担当。平成14年から報道局科学文化部に配属。エネルギー、原子力、製品事故、宇宙、街づくりなど担当。福島原発事故では連日のテレビ解説をつとめる。現、静岡放送局ニュースデスク。

竹内 洋【たけうち・よう】



1942年東京生まれ、佐渡島育ち。京都大学教育学部卒業、同大学院博士課程退学。関西大学社会学部教授を経て、京都大学教育学部・同大学院教授、同学部長、研究科長を歴任。京都大学名誉教授。2005年4月本学に再任。博士論文「日本のメリトクラシー」(東京大学出版会)で第39回日経・経済図書文化賞受賞。『日本の近代12 学歴貴族の栄光と挫折』(中央公論新社)はシリーズ全体で吉田茂賞受賞。『革新幻想の戦後史』(中央公論新社)で第13回読売・吉野作造賞受賞。読売新聞読書委員、中央教育審議会大学教育部会専門委員などを歴任。

河田 恵昭【かわた・よしあき】



関西大学社会安全学部長・教授、社会安全研究センター長。工学博士。専門は防災・減災。現在、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長(兼務)。京都大学名誉教授。京大防災研究所長を歴任。2007年国連SASAKAWA防災賞、09年防災功労者内閣総理大臣表彰。東日本大震災復興構想会議委員。政府の中央防災会議に設けられた、東海地震、首都直下地震、東海・東南海地震等、大規模水害対策、地方都市における地震防災対策などに関する専門調査会の座長・副座長・委員を歴任。現在、日本災害情報学会会長、中央防災会議防災対策推進検討会議委員など。

安部 誠治【あべ・せいじ】



関西大学社会安全学部教授。2009年9月まで関西大学副学長として社会安全学部の開設準備を担当。専門は公益事業論、交通政策論、事故調査制度論。パロマ工業第三者委員会委員長、韓国鉄道技術研究院海外諮問委員、JR西日本安全推進有識者会議委員、運輸安全委員会不祥事問題検証チーム座長、福島原発に関する政府事故調査・検証委員会技術顧問などを歴任。現在、公益事業学会会長、運輸安全委員会業務改善有識者会議座長などを務める。

小澤 守【おざわ・まもる】



大阪大学大学院工学研究科博士課程修了、工学博士。大阪大学、神戸大学を経て関西大学着任。工学部機械工学科教授、システム理工学部学部長を歴任し、社会安全学部発足とともに移籍。現在、関西大学社会安全学部副学部長・教授、日本機械学会動力・エネルギーシステム部門長、日本伝熱学会副会長など歴任。原子力研究開発機構もんじゅ安全委員会委員長代理。Steam Power Engineering (Cambridge University Press)などの著書や熱工学分野の業績多数。日本伝熱学会や可視化情報学会の学術賞、技術賞受賞。